

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2015. 8
No.264

白鴻敏朗 著

「社長の悩み解決大全」

右記の書の中に「社長の思いや考えを社員に浸透させるには」という項がありました。

そこに『エビングハウスの忘却曲線』というグラフがありました。

聞いた話は、1時間後には56%忘れる

1日後には74%忘れる

1か月後には79%忘れる

というものでした。

そして、偉大な経営者の方々は本当にすば

らしい言葉をおっしゃっています。

京セラ 稲盛名誉会長

「線の切れたレコードのように何回も言わなきゃあかん。」

日本電産 永守会長

「1日に100回同じことを伝えていきますか。」

松下幸之助氏

「3年間毎日同じ話を伝えていきますか。」

セコム 飯田創業者

「延べ100万回目と目を合わせて伝えていきますか。」

やはり偉大な経営者は自分の思い、考えが

浸透するよう、繰り返し何度も何度も努力をされ伝えたのです。

「安全第一」「品質最優先」で、AW様に100%

良品をお届けすることが私たちの使命であります。

このことを「線の切れたレコード」のようにイナテック社員の皆さんに伝えさせていたたく

とが私の役目と思い、ここに書かせていただきました。

イナテック100周年を目指して

2051年にイナテックは100周年を迎えます。(今年から36年後です)

100周年の2051年には2度目のTPMワールドクラスを受賞したいと大きな目標を掲げております。

社員の皆さんにおかれましては、この勉強のチャンスを大いに生かしていただき、イナテックNO.1のプロになってください。そして、定年後もイナテックに残っていただき、イナテック社員の育成のお手伝いをしていただきたいと思います。

そのためには、まず3代目の育成が大切です。ただ今イナテック平湖の総経理として実績を上げつつありますが、もっと成長し、皆さんのリーダーシップが取れるよう育てさせていただきます。

そして、イナテックグループの社員の皆さんもご自身を成長させるということは、イナテックが成長することだと思っておりますので、よろしく願いたします。

後から来る社員のために

何のために我々は働いているのか

何のために人間性を向上させているのか

何のために苦勞しているのか

何のために今我慢しているのか

坂村真民先生の詩を参考にさせていただきます、
イナテックバージョンを私(稲垣良次)が作成いたしました。

後から来る社員のために

工場を、技術を深化させておくのだ

TPMを通じて現場をきれいにしておくのだ

ああ 後から入社してきてくれる者たちのために
めい

苦勞し、我慢し、全社員が

全力で改善し続けるのだ

あとから あとから続いてくる

あの可愛い社員たちのために

皆さんそれぞれ自分にできる行動をしてゆくのだ

そして、いい会社をつくるのだ

稲垣 良次

社員の皆さん『イナテック100年企業』を目指して、「後から来るあの可愛い社員のために」

いい会社を残したいと思っております。

皆さんご協力をお願いいたします。

皆さんご協力をお願いいたします。

二七

隱逸林中無榮辱、道義路上無炎涼。

隱逸の林中には榮辱なく、道義の路上には炎涼なし。

一 隱逸——世俗を逃れ避ける。二 林中——山林に隠れるのでいう。次の「路上」に對す。三 炎涼——温かさと冷たさ。人情の厚い薄い。

(榮譽や恥辱は世俗の生活に見られることで、世俗を逃れて山林に隠れるとなれば、榮譽や恥辱などというものは無い。(人情の変化は小人の交わりに見られることで、道義をもって交わる路上となれば、人情が温かくなったり冷たくなったりする変化などというものは無い。)

